

新屋の絶景スポット

(鍛冶屋・東垣・佐坊の棚田一望) 走行距離：約 12 km

八反滝(とちのき村) 所要時間：車 約24分



①香美町小代観光協会・小代物産館前を直進



②小代バイパス直進(左カーブ)



③大きい道に沿って進む(右カーブ)



④ 十字路を左折(注：一時停止線あり)



⑤ T字路を左折(上り道)(とちのき村看板あり)



⑥ Y字路を右折(とちのき村看板あり)



⑦Y字路を左折(とちのき村看板あり)



⑧Y字路を左折(新屋(ニイヤ)バス停MAP看板あり)



⑨新屋の絶景スポットを直進(赤で囲った場所から右の写真の棚田が一望できます📷)



⑩T字路を左折(とちのき村看板あり)



⑪十字路を左折(八反滝の看板あり)

注意：左折すると砂利道です。足場が悪くなるのでゆっくり直進してください。



⑫八反滝前の駐車場に駐車し、徒歩で八反滝へ

注：駐車場前の溝にはまらないようお気を付けてください!!

 **山陰海岸ジオパーク**    

San'in Kaigan Geopark

新屋八反滝

Niiya Hattandaki Waterfall



Kasumi Kaigan Area
香住海岸エリア



新屋八反滝

鉢伏山を形成している安山岩が侵食されてきた滝で、落差32m。上部は安山岩で節理がよく見られ、下部は礫岩で形成されています。4月下旬から滝周辺にはシャクナゲの薄桃色の花が咲き始め、自生のクルミの木、トチノキ、栗、こぶしなどが芽を吹き、ワラビ、ゼンマイ、ウドなどの山菜の宝庫となります。秋はモミジ、カエデの紅葉が目を楽しませてくれ、冬は滝全体が凍り氷の芸術品ようになります。近くの美方高原自然の家(とちのき村)では、アウトドアでのイベントが体験できます。

The Niiya Hattandaki Waterfall is made by the erosion of the andesite of Mt. Hachibuse. The upper part of the waterfall consists of andesite with joints, and the lower part of conglomerate. From late April, Alpine roses start blooming, and almost all trees, such as walnut, buckeye, chestnut, and magnolia, break into leaf around the waterfall. Wild edible plants, such as bracken, flowering fern, and udo, grow in clusters around the waterfall. In autumn, you can enjoy a variety of seasonal leaves. In winter, the frozen waterfalls become like a work of art. Also, you can enjoy outdoor events at the neighboring facility, the Mikata Highland Nature House "Tochinoki Village"

香美町立ジオパークと海の文化館 TEL0796-36-4671
山陰海岸ジオパーク推進協議会 TEL0796-26-3783

